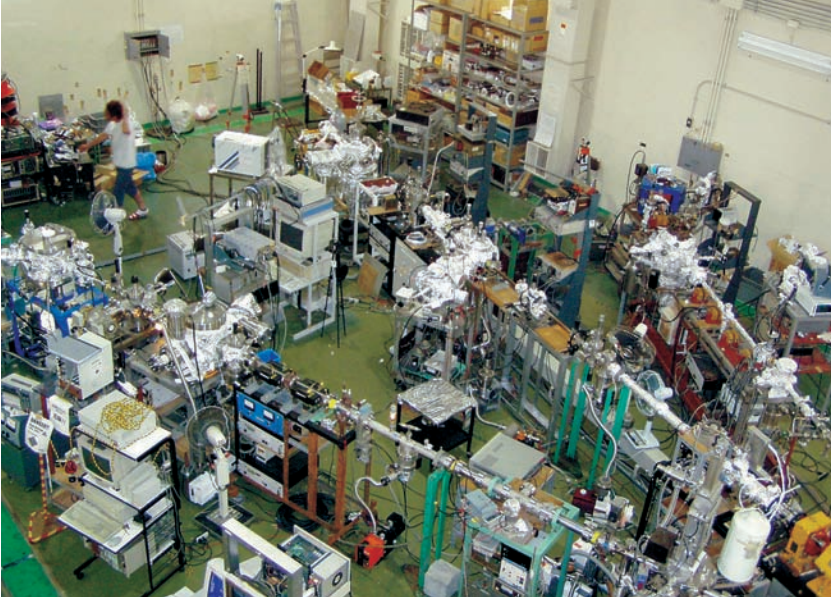




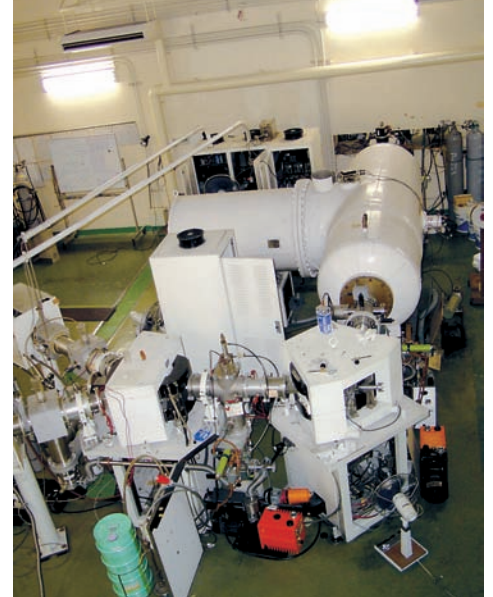
# 大学院工学研究科附属量子理工学教育研究センター

Quantum Science and Engineering Center

量子理工学教育研究センターでは、タンデム型イオン加速器、ヴァン・デ・グラーフ型イオン加速器の共同利用を中心に、広く学内へ施設を開放しています。



イオン加速器のビームライン。それぞれの研究にあった真空槽があり、10億分の1気圧で実験を行います。



加速器の本体部分。170万ボルトの電圧でイオンを加速します。

## 公開ラボ

— 放射線を見る、放射線で見ると —

### 総合展示

(宇治おうばくプラザ)①

簡単な工作で霧箱を作って、アルファ線の飛んだ跡を見てください。  
イオンを身のまわりのモノに当てて、モノが何からできているか観察してください。

日時：10月24日(土)・25日(日) 10時～16時

会場：大学院工学研究科附属量子理工学教育研究センター⑧



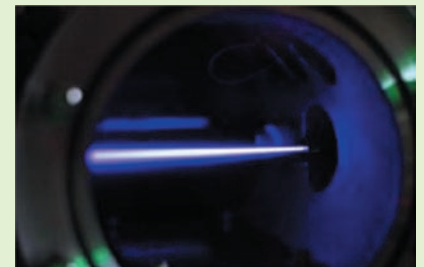
霧箱工作の光景

ご近所の子供たちも工作しています。  
放射線が飛んだ跡が見えると、歓声が。



霧箱実験

放射線の飛んだ跡が白い線になって見えます。百年前ならノーベル賞を貰えました。



加速器からのイオンビーム

輝く白い線がイオンビームです。このビームを使って、文化財、食品、生物試料などの元素分析をしています。分析したい身近な試料を持ってきて、測定してみよう!

※公開シンポジウム(p.33参照) 平成21年10月23日(金) 10:00～14:35